

教育センター学びの丘長期研修員研修における学びについて

串本町立潮岬中学校

教諭 新 川 薫

別途「教育センター学びの丘長期研修員の概要について」に示した、研修の概要を基に、1年間の学びについて述べる。

修養では、様々な研修員研修や研修講座を受講することで、専門的な知識を得るとともに新たな視点を身に付けることができた。これまで受講する機会がなかった異校種・他教科の研修を受けることで、多くの気付きや学びが得られた。また、それらが自身の専門教科や関心と繋がったことで、考えの幅が広がるとともに、深まった。そして、様々なキャリア段階に応じた研修を聴講し、教員として各段階で必要とされる資質・能力について考えたことで、さらにミドルリーダーとしての役割を意識するようになった。

研究では、ケース会議において、教員の児童生徒理解がどのように変容し、共有されていくのかについて分析した。児童生徒を共感的に理解するための要素は、ケース会議において安全・安心な場を保つことであり、その前提として、教員同士の相互理解・共感的理解が重要であったことが分かった。

今後は、日頃から教員同士の相互理解・共感的理解が深められるように、ミドルリーダーとして、教員同士をつなぎ、同僚性・協働性を基盤とした「チーム学校」づくりに貢献したい。